

第2回 政策のための科学オープンフォーラム

科学による政策課題解決 への挑戦～たゆまぬ共創・協働～



2020年1月15日(水)

13:00~18:00

(開場：12:30)

国立大学法人 政策研究大学院大学

📍 東京都港区六本木7-22-1

参加費

無料

言語

日本語

フォーラム開催のねらい

社会におけるさまざまな問題を解決に導くためには、政策形成に貢献しうる研究成果を創出するとともに、政策形成プロセスに活かすなど、研究者と行政官の連携・協働・共創がますます重要になっています。このフォーラムでは、このような連携・協働・共創に関わってきた有識者の知見や教訓を共有し、また政策や研究の最前線に立つ参加者同士も経験を共有しあえる場を提供することで、科学による政策課題の解決を目指す『政策コミュニティ』の形成を図ります。

主催



文部科学省

MINISTRY OF EDUCATION,
CULTURE, SPORTS,
SCIENCE AND TECHNOLOGY-JAPAN

共催

政策研究大学院大学
科学技術イノベーション政策
研究センター (SciREXセンター)



政策研究大学院大学
NATIONAL GRADUATE INSTITUTE
FOR POLICY STUDIES



SciREX Center

協力

SciREX基盤の研究・人材育成拠点、文部科学省科学技術・学術政策研究所 (NISTEP)、国立研究開発法人科学技術振興機構 (JST) 社会技術研究開発センター (RISTEX)、同 研究開発戦略センター (CRDS)、研究・イノベーション学会 等

「政策のための科学」推進事業 (SciREX事業) とは

経済・社会が大きく変化する中で、複雑化する国内外の諸課題を解決するため、科学技術イノベーション政策におけるエビデンスに基づく合理的な政策形成の重要性が高まっています。こうした状況に対応するため、文部科学省では平成23年度より科学技術イノベーション政策における「政策のための科学」推進事業 (SciREX事業) を実施しており、教育・研究の支援や政策研究を行っています。

13:00

13:15

13:45

14:15

14:50

12:30～ 開場	大会場	主催者挨拶	基調講演①	基調講演②	
	中会場				
	ホワイエ		ポスター展示	ポスター発表者滞在	

主催者挨拶

13:00～13:15

挨拶 菱山 豊（文部科学省学技術・学術政策局長）

趣旨説明 山下 恭範（文部科学省政策科学推進室(SciREX)参与）

基調講演①

13:15～13:45

「政策形成と政策コミュニティ」

国家レベルの政策・合意形成を多数経験し、科学的判断根拠を提供してきた立場から、政策研究のあり方や研究者の役割の将来展望を語ります。

白石 隆氏（政策研究大学院大学SciREXセンター長 兼 熊本県立大学理事長）

1986年コーネル大学Ph.D。2007-18年日本貿易振興機構アジア経済研究所（IDE-JETRO）所長、2009-2011年総合科学技術会議議員、2011-17年政策研究大学院大学長。専門はアジアの政治、政治史、国際関係。著書『海の帝国-アジアをどう考えるか』（中公新書、2000）で第1回読売・吉野作造賞受賞。その他『海洋アジアvs.大陸アジア』（ミネルヴァ書房、2016）など多数。2007年紫綬褒章受章。2015年「講書始の儀」の進講者を務める。2016年文化功労者顕彰。2017年インドネシア共和国最高功労勲章受章。



基調講演②

13:45～14:15

「AIを活用した社会構想と政策提言」

人工知能による政策オプションの提示という、研究者と行政官の本格的協働事例を題材に、現代社会の政策課題に対する科学の貢献の道を考えます。

広井 良典氏（京都大学こころの未来研究センター教授）

1961年生まれ。東京大学教養学部卒業、同大学院修士課程修了後、厚生省勤務、千葉大学法政経学部教授をへて2016年より現職。この間、2001-02年マサチューセッツ工科大学（MIT）客員研究員。専攻は公共政策及び科学哲学。『日本の社会保障』（岩波新書、1999年）でエコノミスト賞、『コミュニティを問わないおす』（ちくま新書、2009年）で大仏次郎論壇賞受賞。他の著書に『ポスト資本主義』、『人口減少社会のデザイン』など多数。



ポスター展示

13:00～18:00（14:15-14:50 発表者が滞在し、ご質問等に応じます）

政策研究や政策形成に関する知見（科学的手法を用いたもの）を扱った研究・実践に関するポスター展示、及び参加者同士で交流していただける場を設けます。発表者滞在時間以外も常時、発表用ポスターは掲示されていますので、ご自由にご覧ください。

<展示予定のポスター発表タイトル（抜粋）>

- ・ ヒューリスティクスを用いた震災時配水管網復旧計画アルゴリズムの開発
- ・ 複数ステークホルダの政策共進化シミュレーション
- ・ 重度の子ども虐待事例におけるバイオサイコソーシャルな背景要因分析と支援方策
- ・ 想定シナリオ作成のための災害被害影響に関連する因果知識の抽出・蓄積・再利用
- ・ 高齢社会の医療費の行方
- ・ SDGs達成に向けたバイオエコノミー政策 ～小学校へのバイオ食器導入～
- ・ ボランティア de 納税
- ・ Translational Research and Access to Medicines
- ・ 風力発電施設建設をめぐる反対運動～天神丸周辺地域を事例に～
- ・ JUDGEIT! - 行政事業レビューシートのオープンデータ化と可視化の取り組み
- ・ EBPMのための情報工学からのアプローチ：データマイニングの政策立案支援応用
- ・ 今後の地域経済分析システム（RESAS）の在り方について
- ・ 患者・研究者・政策関係者の協働による医学研究政策のための論点抽出およびpriority setting /等、計24点（予定）

セッション①

セッション③

セッション⑤

交流会

セッション②

セッション④

どなたでも
無料でご参加
いただけます

ポスター展示

※登壇者は変更になる可能性があります

セッション① 14:50～16:05 (大会場) **事例から紐解く、個票データを含めた行政データを利活用する際の教訓と展望**

産業領域ではビッグデータの活用が急速に進み、データ利活用が新たな競争力の源泉となる一方、機微な情報が本人の許諾なくマーケティングに用いられるなど、データ活用上の倫理や信頼が課題となっています。政府でもEBPM(Evidence Based Policy Making)の推進や行政データの活用が方針として示される中、匿名化された個票データを政策領域横断的に統合して分析することも検討されています。個票データの利活用は自治体レベルで先行しており、それらの事例から学ぶべきことは多くあります本セッションでは、個票データを用いた政策研究を充実させ、研究成果を活かした政策形成過程を構築するために、これまでの実践から留意事項や教訓を供覧します。

司会進行 **小林 信一氏** (広島大学高等教育研究開発センター特任教授)話題提供 **秋生 修一郎氏** (足立区) / **島津 太一氏** (国立がん研究センター) / **祐野 恵氏** (京都大学)**セッション②** 14:50～16:05 (中会場) **『ポスト真実』時代 3年目の科学技術**

2017年頃から「ポスト真実」の時代と言われ始め、3年目を迎えます。この間、ディープフェイクやフィルターバブル等、最新の科学技術を用いたデジタル情報の発信にまつわる論争は勢いを増しています。SNSのトラフィックの急増によってメディアや報道に対する市民社会の姿勢に変化が生じていることは、政策課題の解決にも影響する重要な要素です。科学がこの現状にどのように関与していると捉えるか、今後どのように関与すべきと考えるか、科学技術への信頼を高めるためにいま必要なことは何か、参加者と共に検討します。

司会進行 **平川 秀幸氏** (大阪大学COデザインセンター教授)話題提供 **神里 達博氏** (千葉大学) / **西田 亮介氏** (東京工業大学) / **細野 光章氏** (岐阜大学)**セッション③** 16:10～17:25 (大会場) **STI for SDGとステークホルダー間協働**

テクノロジーとイノベーションで社会課題解決を導く一近年、SDGsへの関心の高まりを受け、政府、自治体、企業、大学など様々なアクターが「テクノロジーファースト」から「課題ファースト」へその活動を移行しているように見受けられます。その背景には、現在起きている環境問題、経済的格差などの諸問題が、これまでの盲目的な経済発展や科学技術の進歩に一因があると考えられ始めていることが挙げられます。一方で、複雑化する社会課題を解決に導くには、科学技術イノベーション (STI) の活用が重要であると同時に、そのプロセスでは今まで以上に中長期的な深いレベルでのステークホルダー間の協働が必要となります。本セッションでは、課題解決にあたり多くの主体を巻き込みながら戦略的に協働していく際のポイントについて、国内外の事例をもとに議論します。

司会進行 **狩野 光伸氏** (岡山大学大学院ヘルスシステム統合科学研究科教授)話題提供 **飯塚 倫子氏** (政策研究大学院大学) / **木村 めぐみ氏** (一橋大学) / **小林 俊哉氏** (九州大学) / **島谷 幸宏氏** (九州大学)**セッション④** 16:10～17:25 (中会場) **行政官と研究者が直面する葛藤をどう乗り越えるか**

行政官と研究者が協働するプロジェクトでは、互いの目標設定や時間軸の違いから葛藤が生じることは不可避です。国では政策リエゾンや行政官研修など歩み寄りの方策も講じられていますが、葛藤の調整がプロジェクトの成否を左右するため、調整実務者の力量が試されます。本セッションでは、最終的にパートナーシップを形成できた事例を供覧し、その過程で生じた障壁や課題も参加者に共有します。その上で、様々な立場の参加者がそれぞれの現場でニーズとシーズの調整を超えて、よりよい協働にたどり着くための方策を模索します。

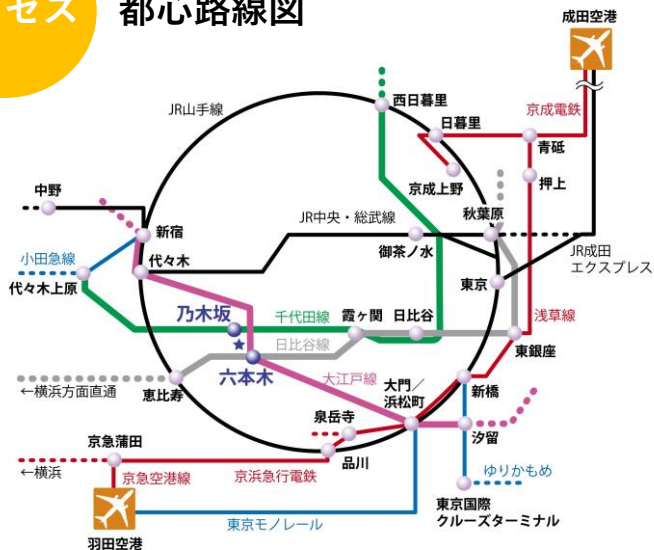
司会進行 **小林 直人氏** (早稲田大学リサーチイノベーションセンター研究戦略部門副研究部門長)話題提供 **赤池 伸一氏** (科学技術・学術政策研究所) / **吉田 朋央氏** (京都大学) / **森川 想氏** (東京大学)**セッション⑤** 17:30～18:00 (大会場) **政策研究と政策形成の『共創・協働』を如何に進めるか**

SciREX事業が掲げる政策研究と政策形成の「共進化」は、他の研究機関も独自のアプローチで取り組んでいます。本セッションでは、SciREX事業及び類似のイニシアティブの成果を供覧するとともに、社会全体でこれらのアプローチを発展させる方向性や課題、今後の論点を皆さんと考えます。

司会進行 **小林 信一氏** (広島大学高等教育研究開発センター特任教授)話題提供 **有本 建男氏** (政策研究大学院大学) / **小林 傳司氏** (大阪大学) / **小林 俊哉氏** (九州大学) / **小林 直人氏** (早稲田大学) / **坂下 鈴鹿氏** (文部科学省) / **城山 英明氏** (東京大学) / **祐野 恵氏** (京都大学) / **吉岡 徹氏** (一橋大学)

アクセス

都心路線図



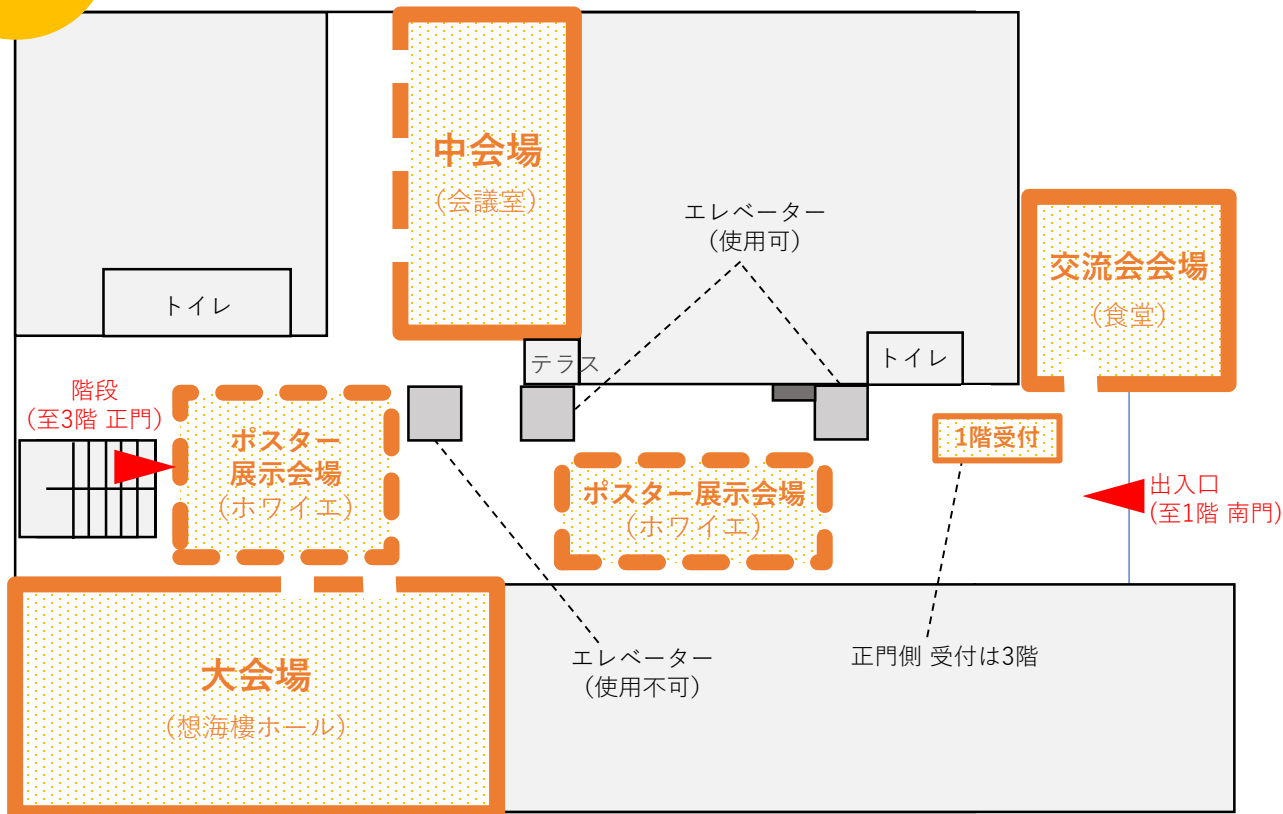
周辺地図



* 都営大江戸線六本木駅、東京メトロ日比谷線六本木駅、東京メトロ千代田線乃木坂駅をご利用ください。

会場

政策研究大学院大学内 1階見取り図



- * 出入口は3階（正門）と1階（南門）の2箇所となり、いずれも建物内に受付を設置しております。
- * エレベーターは3機中、2機しか使用できません。差し支えなければ、階段のご使用にご協力をお願いいたします。
- * クロークは設置しておりません。大きなお荷物は各自でお持ちください。
- * ペットボトルやゴミは各自でお持ち帰りください。
- * 建物内は全館禁煙となっております。
- * 交流会会場は休憩スペースとしてご利用いただけますが、準備の都合、16:30～18:00の間の立ち入りはご遠慮ください。